

文化と学生のまちコラボ企画



大阪樟蔭女子大学
OSAKA SHOIN WOMEN'S UNIVERSITY

×



東大阪市文化創造館
HIGASHIOSAKA Cultural Creation Hall

女子大生が「ラグビー」をテーマにドレスを制作

「ラグビー」の力強さをドレスで表現

大阪樟蔭女子大学学芸学部 化粧ファッション学科（大阪府東大阪市）の学生（3 年生）が、ラグビーワールドカップ 2019 が東大阪で開催されることを記念して、「ラグビー」をテーマにしたドレス（2 体）をデザイン、制作しました。

この取り組みは、地域とのつながりやにぎわいの創出、将来の文化芸術を担う創造力豊かな人材の育成を目的とする文化と学生のまちコラボ企画として、東大阪市文化創造館から大阪樟蔭女子大学に依頼を受けたもので、『ラグビーのまち 東大阪』をアピールしたいという思いから、被服構成学研究室と生活デザイン研究室の学生たちが合同で取り組んだものです。



制作は、5 月から開始し、生活デザイン研究室の学生がデザイン画を作成し、制作するドレスを構成学研究室の学生とディスカッションを重ね、複数のデザイン案を折衷しながら最終 2 案に絞り込みました。

ラグビーという力強いイメージをエレガントなドレスの形にすることの難しさに悩みながら、デザイン画の作成、生地選び、型紙パターンの制作、縫製作業と進めていき、9 月の中旬に完成させました。

制作したドレスは、9 月 23 日（月・祝）から、10 月 14 日（月・祝）まで東大阪市文化創造館 1 階エントランスロビーに展示されます。

このような地域とのコラボ企画を通して、身につけた技術や知識と磨き鍛えた感性やセンスを活かして作りあげたドレスを多くの方々にご覧いただき、また今後の学生の自信につながればと思っております。

つきましては、マスコミ関係各位さまにおかれましては、このコラボ企画をご紹介しますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ラグビーをテーマとしたドレスの展示

展示期間：9 月 23 日（月・祝）11 時～10 月 14 日（月・祝）16 時 ＊休館日（10/8）を除く
展示会場：東大阪市文化創造館 1 階エントランスロビー（東大阪市御厨南二丁目 3 番 4 号）

展示期間中には、下記のワークショップ＆体験を行います。

- ・9 月 23 日（月・祝） 11：00～13：00（創造支援室 C2）
プリントテキスタイルで作るアクセサリー（定員を満したため受付を終了）
- ・10 月 13 日（日） 13：00～15：00（創造支援室 M3）
ロココ時代の復元衣装とヘアの試着体験（当日先着順にて終了）
- ・10 月 14 日（月・祝） 14：00～16：00（創造支援室 C1）
つまみ細工で作るアクセサリー（定員を満したため受付を終了）



つまみ細工

<本リリースに関するお問合せ先>

学校法人樟蔭学園 学園広報課（担当：梶田）

TEL:06-6723-8152（直通）FAX:06-6723-8263 E-mail: gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp

ラグビードレス完成！

ラグビーワールドカップ2019が東大阪市花園ラグビー場で開催されることを記念して「ラグビー」をテーマにしたドレス2体を学生がデザイン、制作しました。



Blue Dress



元になったデザイン画



Red Dress

ボリュームのあるスカートが特徴のプリンセスラインのシルエット。メインカラーを青と水色とし、和の雰囲気も合わせ持ちます。トップスはスポーティーなイメージでコンパクトにまとめ、ラグビー競技のスポーツ感やフットワークの軽さを、スカートはフリルを何段も重ねたボリューム感のあるシルエットで、迫力と重量感・安定感を表現。スカートの色味は、ややくすんだ色味のブルーやグリーンを使用することによって、全体の調和を図りました。ラグビーワールドカップが日本で開催されることを意識し、トップスから裾に向けては日の丸と富士山を連想させるデザインとしました。

スレンダーなIラインシルエット。シンプルなストレートなシルエットをベースに日本代表のカラーである赤色をメインカラーとしました。袖は、ハードチュールを使用してボリューム感を持たせ、腕部分は革素材を使用し、革紐で編み上げるデザインに。このドレスの最も特徴的なデザインであるウエスト位置には、ラグビーボールを連想させる2種類の革素材を使った形の装飾を配置し、ラグビーの力強さを表現しました。

5月

「ラグビー」をテーマにコンセプトの絞り込みとデザイン決定！生活デザイン研究8名が「ラグビー」をテーマにしたデザイン画を作成。二つのゼミを合同で開催し、生活デザイン研究室の学生が描いたデザイン画を構成学研究室学生に向けてプレゼンテーションしました。全員でどのドレスを制作するかディスカッションを重ねた後、全員で投票し、複数のデザイン案を折衷する案も取り入れながら2案に絞り込みました。ラグビーという男性的なテーマをドレスという形にすることの難しさに悩みながら制作をすすめました。

6月

制作開始。デザイン画をもとに、どのような生地がふさわしいか、見本帳から選定。同時にパターンを制作。シーチングでトワルを組み、完成予想を確認。選んだ布を型紙に合わせて丁寧に裁断。特にボリュームのあるプリンセスラインのドレスは、使用する生地の量も大量に。

7月

縫製の作業を16人で分担しました。ドレスの全体像を予測しながら、ディテールと装飾を検討。



8・9月

夏休み中も大学に集まり、皆で分担して最終仕上げを行い、展示を目指して制作をすすめました。本企画の活動は、ケーブルテレビ、新聞、ウェブニュースに取り上げていただきました。



完成！



化粧ファッション学科ファッション専攻3年生
被服構成学研究室 天住奈桜、池内晴香、斎藤舞、櫻井七海、下田真子、塚本絢加、畑本桃果、宮本茉奈
生活デザイン研究室 酒井唯奈、須釜愛理、竹鼻里緒奈、中村香純、西口菜々花、長谷川杏純、藤本結羽、松森由真
指導：杉田慶子教授 森優子准教授 技術指導：片山郁子